

地域の子どもは地域全体で守り育てる

中高一貫教育を目指して



奥尻町教育委員会委員長 瀬戸 弘

町民の皆様、あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日ごろ本町の教育振興に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年本町は第1回奥尻ムーンライトマラソンを開催し、一昨年の震災20年の節目の年から新たな時代へとスタートをきりました。

学校教育関連におきましては、3月に長い歴史を築いてきた宮津小学校が閉校となり、4月には新しく生まれ変わった奥尻小学校が新たな歴史を刻み始めました。さらに、8月には待ちに待った青苗小学校の新しい体育館が完成し、子どもたちが思いっきり活動できる環境が整いました。

また、4月に小学校6学年と中学校3学年を対象として実施した全国学力・学習状況調査の結果を学校名や個人名

が特定されない範囲で公表させていただきます。小学校、中学校ともいずれの教科でも平均正答率が全国平均以上となり、これまでの学校や家庭での学習の成果が現れたものと安堵しているところです。

これまで本町では、教育目標に「ふるさとに学び、町を育てる児童生徒の育成」を掲げ、「開かれた魅力ある学校づくりの推進」、「人間尊重の精神に基づいた教育の推進」、「ふるさとに愛着と誇りをもつ人間の育成」、「基礎・基本をふまえ、自ら学ぶ意欲の育成」、「豊かな心とたくましい身体を育てる教育の推進」の5項目を学校教育の重点として取り組んできたところであり、各校は、校長以下教員の

不断の努力によってそれぞれ特色ある校風を育んでおります。また、北海道教育委員会では、地域の子どもは地域全体で守り育てるという考え方で、子どもたち一人一人がた

くましく成長することができるよう効果的な施策を進めているところです。

人口減少と少子高齢化が進む本町にとって、未来を担う児童・生徒は大切な島の宝であり、将来の奥尻を創り継続していく原動力となります。その彼らに知識と教養を与え、自立と自律を促し、将来の指針を示すことが教育委員会の使命であると考えます。

地域の皆様には、どうかこの子どもたちを地域全体で守り育ててくださるようお願い申し上げます。

特に今年は、平成28年度の奥尻高等学校の町立移管、平成29年度の中学校統合に向けて具体的な検討に入り、中高一貫教育を実現するための重要な年となります。

また、幼稚園教育においては、昨年10月から青苗幼稚園でも預かり保育を開始しましたが、子育て支援のためにさらなる制度充実を図ってまいります。

社会教育関連では、10月に青苗岬に所在する「徳洋記念碑」を町の有形文化財に指定しました。他の指定文化財を含め、今後は文化財保護とともに、郷土の歴史を活かしたツーリズム等を企画し観光振興にも活用していく所存です。

生涯学習の充実と文化・スポーツ行事については、「新奥尻町社会教育中期5カ年計画」に沿いながら、町民のニーズにあった事業展開を行い、気軽に参加できる生涯学習や行事の環境づくりに引き続き努めてまいります。

皆様におかれましては、今後とも教育行政に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様の

ご多幸を心からお祈り申し上げます。平成二十七年 元旦

奥尻町教育委員会

教育委員長 上野 史朗

成田 千代子

佐藤 康博

石島 孝司

局長 長崎 武巳

他職員 一同